

共通

門・アプローチ

- ・ つる3小側から通学する児童を考え、南門・正門両方使用すると、広範囲から児童が入りやすい、歩車分離する。
- ・ 南面の斜面を削り、通学路（正門前）歩道を広げたほうが良い、道をうるうるする児童は危ない
- ・ 正門の位置、正門はもっと西に作るべき

建物・校庭・外構配置・グラウンド・体育館

- ・ 砂埃対策で、人工芝化
- ・ グラウンドの広さ・質を大切にしたい
- ・ 鶴の台を活用する
- ・ 車使用の際の分離の徹底、ロータリーを整備する
- ・ 体育館は1~2階くらいが良い

校舎

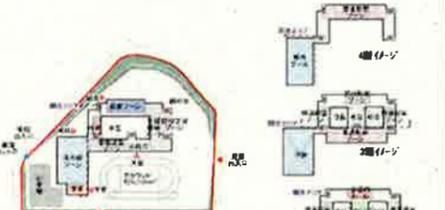
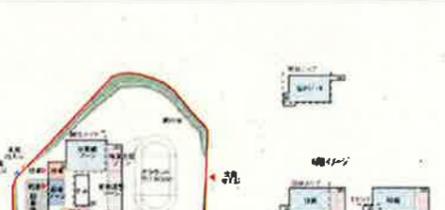
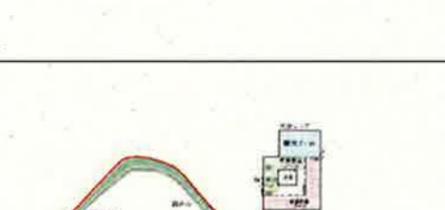
- ・ 障害を持った児童のために、EVの設置。バリアフリー化
- ・ 特別支援教室と職員室が近接配置しているとよい
- ・ 教室の日当たりはよくしたい

学童・まちとも

- ・ 学童が門側近くにあるとよい（昔は門近くにあった）

地域利用・避難所

- ・ 学校と地域活動の施設を分ける
- ・ 守衛室を設けるべき
- ・ 地域との連携と安心安全な学校生活両方を大切に

A-1案		よいところ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校舎が風よけになる（近隣の砂ほこり） ・ 地域の出入り口が地域利用施設に近い ・ (A案共通)防災対応として体育館と校舎を切り離し使用できる ・ (A案共通)校舎まで正門からグラウンドを通る距離が長いので不審者が入りにくい
		気になるところ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 60m以上もある直線廊下が長い ・ (A案共通)鶴の台と分断され遊びにくい、目が行き届かない ・ (A案共通)グラウンドが狭く、校舎の裏の面積が多い ・ (A案共通)崖と校舎が近く日影、死角になる ・ (A案共通)給食ゾーンへの車の出入りが離れている ・ (A案共通)校門から昇降口まで遠い
A-2案		よいところ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体育館・プールが広い ・ 多目的ホールが各階にとれる ・ 学童が校門・駐車場に近い ・ (A案共通)防災対応として体育館と校舎を切り離し使用できる ・ (A案共通)校舎まで正門からグラウンドを通る距離が長いので不審者が入りにくい
		気になるところ	<ul style="list-style-type: none"> ・ (A案共通)鶴の台と分断され遊びにくい、目が行き届かない ・ (A案共通)グラウンドが狭く、校舎の裏の面積が多い ・ (A案共通)崖と校舎が近く日影、死角になる ・ (A案共通)給食ゾーンへの車の出入りが離れている ・ (A案共通)校門から昇降口まで遠い
B-1案		よいところ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日当たりがよい ・ 児童と車両動線の明確な分離ができる ・ 災害時の避難の点から3階がよい ・ プール・体育館が広い ・ (B案共通)B案の方が開放面が多い ・ (B案共通)駐車場から給食ゾーンが広いので危なくない ・ (B案共通)グラウンドが広く鶴の台と一体化して使いやすく、運動会等の行事の時使いやすい
		気になるところ	<ul style="list-style-type: none"> ・ (B案共通)正門入ってすぐの昇降口は登校時溜まる可能性がある ・ (B案共通)吹抜の安全対策（転落防止）が心配、夏冬の防寒対策、夏の冷房代費用がかかる ・ (B案共通)屋内プールが上階にあるデメリットが気になる、壁の老朽化や耐震性が心配。
B-2案		よいところ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学童が駐車場近くに配置されているのがよい ・ (B案共通)B案の方が開放面が多くよい ・ (B案共通)駐車場から給食ゾーンが広いので危なくない ・ (B案共通)グラウンドが広く鶴の台と一体化して使いやすく、運動会等の行事の時も適している
		気になるところ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4階に普通教室が気になる ・ 災害時4階普通教室からの避難は時間がかかる（将棋倒し） ・ (B案共通)正門入ってすぐの昇降口は登校時溜まる可能性がある ・ (B案共通)吹抜の安全対策（転落防止）が心配、夏冬の防寒対策、夏の冷房代費用がかかる ・ (B案共通)屋内プールが上階にあるデメリットが気になる、壁の老朽化や耐震性が心配

①教育環境・生活環境づくり

- 明るい校舎と広く日当たりの良いグラウンド
- 特別支援教室と職員室の近接配置、障害をもった児童のためのユニバーサルデザイン等
- 鶴の台を残置しグラウンドとの連携利用にも配慮
- 近隣への砂埃対策（人工芝化や校舎配置）と日影や視線の影響に配慮

②放課後活動の拠点づくり

- 送迎や利便性に配慮した学童と駐車場・門の配置

③市民生活の拠点づくり

- 地域との連携と安心安全な学校生活の両立
- 学校エリアと明快に区分可能な地域開放ゾーン

④安全性の確保

- 避難が容易な階構成・室配置
- 歩車分離等安全性に配慮した門配置・車両動線（児童動線と車両/地域動線を分離）
- 既存施設の通学環境の改善（歩道設置や段差解消等）
- 死角・裏のない校舎配置
- 避難所利用時の避難所エリアと学校エリアの明快な分離
- 土砂災害警戒区域：敷地北側の崖地を避けた校舎配置とする
- 正門の位置・関係の整理：正門の位置を検討

■建物高さによる見えかたの工夫

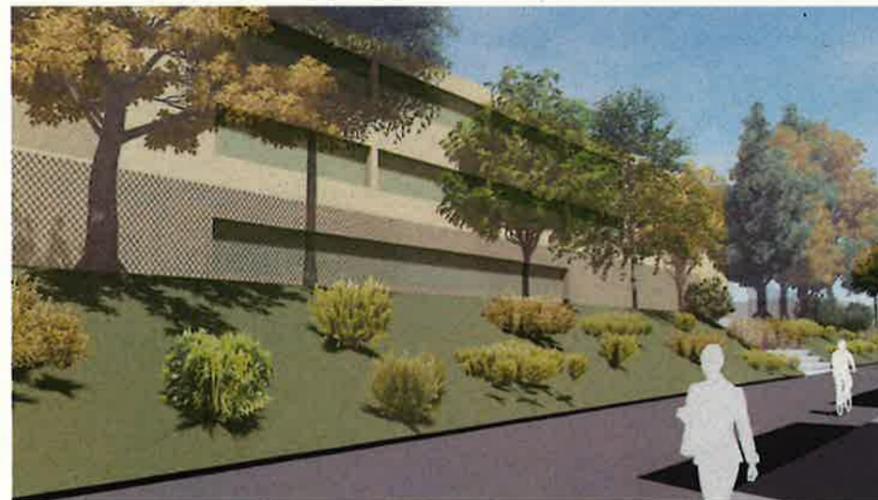
例：B-1 案（3階建て）



東側から望む（鳥観図）



南西側住宅1階から小学校をみる（正面）



南西側住宅1階から小学校をみる（正門を含む）

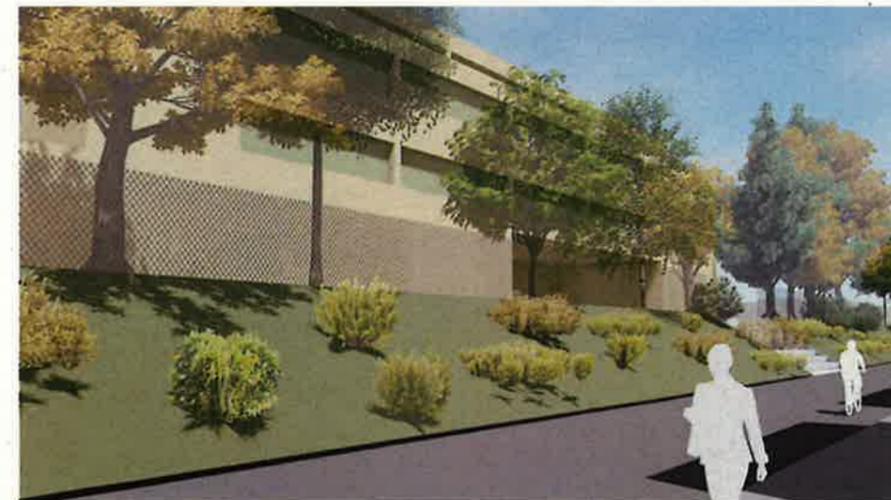
例：B-2 案（4階建て）



東側から望む（鳥観図）



南西側住宅1階から小学校をみる（正面）



南西側住宅1階から小学校をみる（正門を含む）

■(参考)現在の周囲からの見え方

